

平成 19 年 3 月 15 日
新日本製鉄株式会社

新日鉄チタン 大谷美術館賞を受賞

新日本製鉄株式会社（社長：三村 明夫）は、平成 18 年度大谷美術館賞「チタン製段付き本瓦葺き屋根及び鬼瓦（浅草寺宝蔵門）」を、清水建設株式会社、株式会社カナメ、ルーフシステム株式会社、株式会社響コーポレーションと 5 社で共同受賞致しました。当社としては、平成 16 年度の「伝統美・夢素材の屋根 アルミナブラスト仕上げのチタン屋根・外装材」に続いて 2 度目の受賞となります。（表彰式は 3 月 10 日 大谷美術館にて行なわれました）

大谷美術館賞は、財団法人大谷美術館(*)の大谷利勝館長（日本機械学会 機械材料・材料加工部門初代部門長）が、永年、金属を研究されてきた立場から、材料そのものの表面の美的評価向上に関する優れた作品および顕著な技術・業績を表彰するために企画された賞です。（平成 15 年度に創設）

現在進められている浅草寺宝蔵門の改修では、耐震性や参拝客の安全性確保等の理由から、軽量で耐久性に優れる「新しい素材」チタンが、本瓦屋根としては初めて採用されております。

新日鉄は、素材の立場から本瓦葺き用には良加工性軟質材を、鬼瓦用には加工性の極めて優れた「Super-Pureflex®」を供給しています。また、チタン材の表面には、日本瓦の風合いを持つ「アルミナブラスト仕上げ」を採用しております。今回の受賞は、加工性に優れ、独特の表面性状を持つチタンにより、これまで不可能とされていた本瓦の意匠性を実現できたことが評価されました。

新日鉄は、今後ともチタンの特性を活かし、伝統的日本建築等においてチタンの適用拡大を図っていきます。

(*)財団法人大谷美術館（東京都北区）は、ホテルニューオータニ創業者の故大谷米太郎氏の遺志を継いで創立され、旧古河財閥がジョサイヤ・コンドルの設計により建設した旧古河邸の管理運営、美術品の展示等を行なっています。

（お問い合わせ先） 総務部広報センター TEL：03-3275-5021

以 上

参 考

①浅草寺宝蔵門 チタン本瓦 (その1)



②浅草寺宝蔵門 チタン本瓦 (その2)



③浅草寺宝蔵門 チタン鬼瓦

